

花と緑の銀行だより

181号 2011.9



オミナエシ／富山市

目次	・花と緑の提言	2	・技術講座	6
	・写真コーナー	3	・この人あり	7
	・活動事例	4	・お知らせ	7
	・緑づくりコーナー	5		



南砺市の花いっぱい まちづくりについて

花と緑の銀行

南砺支店長(南砺市長) 田中 幹夫

今年の夏も例年にも増して暑い日が続き、さらに節電を余儀なくされているということもあり、暑さを凌ぐ事に大変ご苦勞をされたのではないかと思います。しかし、そのような暑さの中でも、市内の花壇、道路沿い等では花が咲き誇っております。それも一重に、頭取、グリーンキーパーの皆様、地域住民の皆様が、日々、水遣りや草取り等、愛情を持って花の世話をいただいているからであり、心より感謝を申し上げます。

さて、南砺市は、富山県の南西部に位置し、平成16年11月1日に8町村が合併して誕生しました。面積は、668.86㎢と、琵琶湖とほぼ同じ大きさを有し、国立公園や県立公園を含む山間部はすぐれた自然景観を残しており、平野部は豊かな水に恵まれた全国有数の水田地帯です。また、世界遺産にも登録されている五箇山合掌集落を有しています。

南砺市では、今年度より、なんと元気なまちづくり事業の一環として、花いっぱいのまちづくり事業を展開しているところです。この事業は、市内の道路、駅前、商店街などに花を植え、訪れる人を花いっぱいのまちとしてお出迎えするというものです。まず、取り掛かりとして、昨年からは福野駅前のロータリーにハンギングバスケットを飾り、今年度はさらに街灯、駅前道路にも拡張しました。そして、福光駅前には、花の塔や大きめのプランターを設置し、駅を利用される人々の心を癒す空間となっております。また、現在、城端ハイウェイオアシスにおきましても、利用される方々に憩いの場を提供できるよう、花いっぱいの空間づくりに取り組んでいるところです。そして、これらの取り組みについては、地元の皆様のご協力を得て実施しているものです。

また、現在、南砺市内には、多くの花壇があり、それらを頭取、グリーンキーパーの皆様を始めとした、地元の皆様に管理していただいております。そして、毎年、夏には花壇コンクールを開催しており、切磋琢磨しながらよりよい花壇づくりを目指しております。さらに県の花壇コンクールにおいても優秀な成績を収めており、これも、日々、花壇を管理していただいている皆様の努力の賜物であると感じております。

南砺市では、例年、「南砺いのくち椿まつり」、「南砺花と緑のフェスティバル」、「南砺菊まつり」など、多くの花に関するイベントを年間を通じて開催しております。また、中でも「南砺花と緑のフェスティバル」では、「みんなで上げよう花と緑の輪」をテーマに頭取、グリーンキーパーの皆様が主体となり、多くの来場者に癒しの空間を提供いたしました。特に今年は、東日本大震災で被災された方々へ祈りを込め、「ガンバレ日本」を花文字で表す等、「復興の輪」が盛り込まれたものとなり、少しでも被災地へ祈りが届くことを願っているところです。このあと、11月3日からは「南砺菊まつり」が開催されますので、是非、皆様のご来場をお待ちしております。

最後になりましたが、今後とも、頭取、グリーンキーパーの方々や住民の皆様と協力しながら、花いっぱいのまちづくりを進め、美しく住みよいまちを目指していきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



南砺花と緑のフェスティバルの花文字



福野駅前のハンギングバスケット

平成23年度花のまちづくりコンクール

各部門入賞写真

学校花壇 最優秀賞
富山市 大久保小学校



幼稚園・保育所花壇 最優秀賞
富山市 四方保育所



一般花壇 最優秀賞
氷見市 一勿花壇愛好会



花の道 最優秀賞
砺波市 五ヶみちグループ



個人花壇 最優秀賞
富山市 寺崎啓乃



応募総数284点（支店への応募数273点、個人花壇応募数11点）を対象に、7月21日～8月12日に審査を行いました。皆さんの地域の花壇作りの参考に、是非一度は訪れていただき、参考にされてはいかがでしょうか。



地域の方々に和みとうるおいを

花と緑の銀行立山支店

五百石地方銀行頭取 山口美則

毎日、花に水をやりながら、「おはよう」と声をかけると、「おはよう」と応えてくれる気がして今日一日がさわやかな気分になります。

また、心が沈んでいるときには、その思いを花が受け止め、慰めてくれるように感じます。

私たち五百石地区は10名のグリーンキーパーの仲間で、花の植え付けから水やり、草取り、肥料、花柄つみと、皆が楽しく頑張っています。

私たちの活動エリアは街中で田圃が少なく、地方銀行で使える花畑もありませんので、プランター育成が中心です。

夏用にはサルビア、マリーゴールド、インパチェンス、秋用にはパンジー、冬春用にはチューリップ、クロッカス、ムスカリをプランターに植えて、五百石駅前や県道富山・立山公園線沿い歩道横、体育館前、公民館前などに配置し、仲間で順番を決め、水やりや花柄つみを行っています。

昨年の夏同様、今年も暑さが厳しく、水やりも朝だけでは足らず夕方も行っており、おかげで花も元気よく育っています。

また、小学校、保育所、幼稚園、福祉施設などに5月に配布した花苗も元気よく育っており、各所で管理をしていただいております。

本年5月14日には「みどりの愛護の集い」で、富山県都市緑化功労者知事表彰をいただきました。これを励みに、これからも頑張っていきたいと思っております。



庭木に適したサクラーマメザクラとキンキマメザクラー

日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村正史

春になると、野生種や園芸品種のサクラが各地で咲き、多くの県民を楽しませてくれます。富山県中央植物園では、ソメイヨシノの満開時期に4日間の無料開園が毎年実施されており、夜間観賞まで楽しめる企画にもなっているため、毎年多数の県民の方々が来園されます。このようにサクラは日本人にとっては非常に親しみのある樹木ですが、大木になるため狭い民家の庭にはあまり植えられていないようです。

ところが、マメザクラやキンキマメザクラは小型であり、狭い庭にも適している樹木ではないかと思ひ、紹介します。

1. マメザクラとキンキマメザクラ

マメザクラ(写真1～2)は本州中部の太平洋側に分布する野生種です。山地性で特に富士山山麓に多いことからフジザクラの別名もあります。木の高さは5m前後で、若木でも花をつけるので、早くから花見をすることができます。さらに、剪定にも強いため、木の高さを自由に制御することができますという利点があります。

一方、マメザクラの変種にキンキマメザクラ(写真3)があります。このサクラは北陸から中国地方の日本海側を中心とした広い地域に生育している野生種です。マメザクラとほぼ同じ性質を持っています。

2. 植栽時の注意点

サクラは、庭の中で日当たりの良い場所で、しかも肥沃で排水の良い土壤に植えるようにしましょう。



写真1 満開のマメザクラ

3. 植栽後の注意点

サクラの根は浅いところにあるため、土壤が乾燥するとその影響を受けやすいので、落葉等はそのままにして裸地にしないようにしましょう。また、サクラの周囲を踏み固めると、サクラが衰退しますので、踏み固めないようにしましょう。

害虫として注意したいのはアメリカシロヒトリです。若齢幼虫の間は巣の中において、葉を食害しますので、下から見ると葉が透けて白っぽく見えます(5月下旬から6月上旬と7月下旬から8月上旬の2回)。その頃に高枝バサミで、巣ごと切除して足で踏みつぶせば大丈夫です。

その時期を過ぎると、スミチオンやオルトランなどの農薬による防除に頼らざるを得ない状況になります。早期に発見し、早期に処理するようにしましょう。



写真2 マメザクラ



写真3 キンキマメザクラ

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

ガウラ

職藝学院

教授 渡邊美保子

初心者でも育てやすい宿根草を1つあげてくださいといわれたら、ガウラをおすすめします。ガウラは、その花の色と形から別名ハクチョウソウ（白蝶草）と呼ばれる北アメリカ原産の宿根草です。日当たりの良い場所を好み、寒さにも乾燥にも強い宿根草です。

ガウラは、5月中旬頃、細い花茎が何本も伸びてきて、たくさんのつぼみを持ちはじめます。6月になると、ちらりほらりと花が咲き始め、その咲き方はとてもものんびりしています。近くで見ると、まるで小さな白いチョウチョが下向きにとまっているように見えます（写真1）。



写真1 ガウラの白花(原種)。グループで植栽する場合は、株と株を最低80cm離す。

花の命は短いものの、咲き終わるとその上のつぼみが膨らんで咲きだし、花茎は花が上に咲き進むとともに長く伸びてゆきます。草丈は咲き始めは80cm位なのですが8月下旬には倍の1.6mほどになり、幅は人が両手を広げたほどになり噴水状に広がります。細いワイヤーがこんがらがったように豪快に広がる姿は、自由奔放そのものです。見方によっては、暴れているとも言いますが…。しかし、草丈を1mぐらいに抑える方法で、10月まで咲かせることができます。まず、6月中旬になりましたら、草丈の半分ぐらいいから3分の2を刈り込みます。すると、新

しい花茎が伸びてきて一ヶ月後には再び花が咲きだします。9月初旬までなら、ひと月半に一度は、この作業を繰り返すことで、草丈を抑え、花も長く楽しめます。おすすめは、白花と桃色の品種を混ぜて植えたり（写真2）、エキナセア、宿根アスター、ラベンダーセージなど草丈の高いものと組み合わせると良いでしょう（写真3）。



写真2 ガウラの白花と濃い桃色の矮性品種シスキューピンの混植。6月中旬。



写真3 ガウラ(中央)と組み合わせた宿根草ボーダー花壇。富山県総合運動公園、8月上旬。

しなやかに花茎が揺れる姿は、風が吹くたびにまるで白い絵の具が空を染めているように感じます。風は見ることはできませんが、色で風を感じるができるのは、このガウラが一番かもしれません。

これまでのグリーンキーパーとしての活動を通して

花と緑の銀行上市支店
宮川地方銀行グリーンキーパー 松井啓子

私がG Kとして花と緑の活動に参加させて頂くようになってから十数年が経ちました。県下での主な活動としては、緑化祭（おとぎの森会場）での町の花壇づくり、2000年国体では町内や会場を飾る花のプランター作りに参加しました。支店活動では、スーパー農道北島交差点付近で頭取・G K花壇への植栽や維持管理などの活動をしています。また、昨年の「花とみどり・ふれあいフェア」のコンテナガーデン部門では、上市支店宮川地方銀行として出店し、優秀賞をいただくことができ、これを機に上市支店の活動が益々盛んになることを願っています。

今年4月から、私自身として、新人G K研修以来の研修であるG Kのステップアップ研修を受ける好機に恵まれました。花づくりの基本である土づくりや植栽・管理の仕方、また、花のまちづくりの進め方、地域での取り組みや効果など多岐にわたる内容でありまして、初心に戻り計20回の研修を毎回楽しみに受けています。

これからの花壇づくりは、一年草などは種から苗を作り地域の自然、気候などに合った花木、宿根草なども取り入れ、なるべく費用や労力をかけないで、上市町の豊かな自然や町並みが調和する四季折々の花壇づくりを目指すことで、「住みよい町上市」へと発展していけばとても素晴らしいことだと思います。

今後は、研修での成果を生かし、地元地域の皆さんと共に上市町の素晴らしい自然や文化を生かした花壇づくり、町づくり、人づくりに繋げていければと思います。



〈お知らせ〉

2011 ドングリ集め in 植物園

日 時：平成23年10月16日(日) 9:30~12:00 (雨天決行)

場 所：富山県中央植物園 (集合場所はサンライトホール)

入園料：大人 480円 (団体料金扱い) 高校生以下無料

植物園内を、職員の話聞きながら散策し、ドングリ拾いを楽しもう。



2010ドングリ集めin頼成

第39回花と緑の大会を開催します

日 時：平成23年11月7日(月) 13:30~15:40

場 所：富山県民会館大ホール、ギャラリーC

大会では、表彰（富山県環境部門功労表彰、当財団理事長表彰、花と緑のコンクール入賞者表彰）の後、花と緑の講演会（演題：花とまちづくり、講師：株式会社丸栄産業代表取締役社長 丸山彰壽氏）があります。



第38回花と緑の大会

表紙写真：オミナエシ（オミナエシ科、富山市）
裏表紙写真：カワラナデシコ（ナデシコ科、富山市）



カワラナデシコ／富山市



花と緑の銀行だより 181号

発行日 平成23年9月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranijyounomori/>

再生紙を使用しています。